



2026年7月1日

各位

会社名 株式会社Q P Sホールディングス
代表者名 代表取締役社長 CEO 大西 俊輔
(コード：464A、東証グロース市場)
問い合わせ先 取締役 CFO 三輪 洋之介
(E-mail：ir@qpshd.com)

業績予想修正並びに営業外収益および繰延税金資産計上に関するお知らせ

当社は、2026年4月13日に公表した通期連結業績予想を下記の通り修正することを決定いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2026年5月期連結業績予想数値の修正（2025年6月1日～2026年5月31日）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|------------|--------------|---------------|------------|-------------------------|----------------|
| 前回発表予想 (A) | 百万円 4,000 | 百万円 △1,200 | 百万円 600 | 百万円 500 | 円銭 10.33 |
| 今回修正予想 (B) | 3,800 | △800 | 1,100 | 1,100 | 19.69 |
| 増減額 (B-A) | △200 | 400 | 500 | 600 | - |
| 増減率 (%) | △5.0% | - | 83.3% | 120.0% | - |

2. 業績予想修正の理由

2026年5月期の通期連結業績につきまして、開発・調査研究案件に係る計画変更により売上高および売上原価が微減となる見込みです。また、補助金対象となる研究開発費についても計画を下回る見込みとなったことから、営業利益は前回予想から4億円改善し、△8億円となる見込みであります。

さらに、営業外収益において、宇宙戦略基金事業による補助金収入のうち、来期以降の計上を想定していたものを当期に計上する見込みとなったことから、経常利益は前回予想から5億円増加し11億円となる見込みであります。また、親会社株主に帰属する当期純利益は繰延税金資産の計上に伴う法人税等調整額（益）が1億円の発生見込みであり、税金費用が減少した結果、前回予想から6億円改善し11億円となる見込みであります。

3. 補助金収入の計上

Q P S 研究所は、2024年11月29日付「大型案件の採択に関するお知らせ」および2025年3月24日付「（開示事項の経過）大型案件の採択に関するお知らせ」において、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（以下、JAXA）が公募した宇宙戦略基金事業に採択された旨をお知らせしております。

この度、2026年1月23日に初画像の取得に成功した小型SAR衛星QPS-SAR15号機「スクナミー-I」の打上げ費用の一部等入金された補助金のうち確定部分を営業外収益として計上見込みであります。

<補助金の概要>

交付機関 : JAXA
制度名 : 宇宙戦略基金事業
技術開発テーマ名 : 商業衛星コンステレーション構築加速化
技術開発課題の名称 : 小型SAR衛星の量産加速化及び競争優位性確立に向けた機能強化
第4四半期会計期間 : 144百万円
の計上見込額
当初交付金額 : 8,465百万円
当初交付対象期間 : 2027年3月まで

支援上限額（※） : 21,240百万円

実 施 期 間 : 2024年度～2028年度（2029年3月まで）

（※）本支援上限額は、2026年1月14日付「『（開示事項の経過）大型案件の採択に関するお知らせ』の続報」のとおり、2026年度末に実施予定のステージゲート審査の結果によっては変動し得る金額ですが、現時点でJAXAより支援上限額を公表可能と通知を受領したため、お知らせするものです。

なお、本支援上限額は当初交付金額を含みます。

4. 繰延税金資産の計上

将来の課税所得の見積りに基づき、回収可能性があると判断された将来減算一時差異について、繰延税金資産1億円を計上見込みであります。

以上